

【一太郎 2018 編】

ビジネス文書から電子書籍、折り本まで

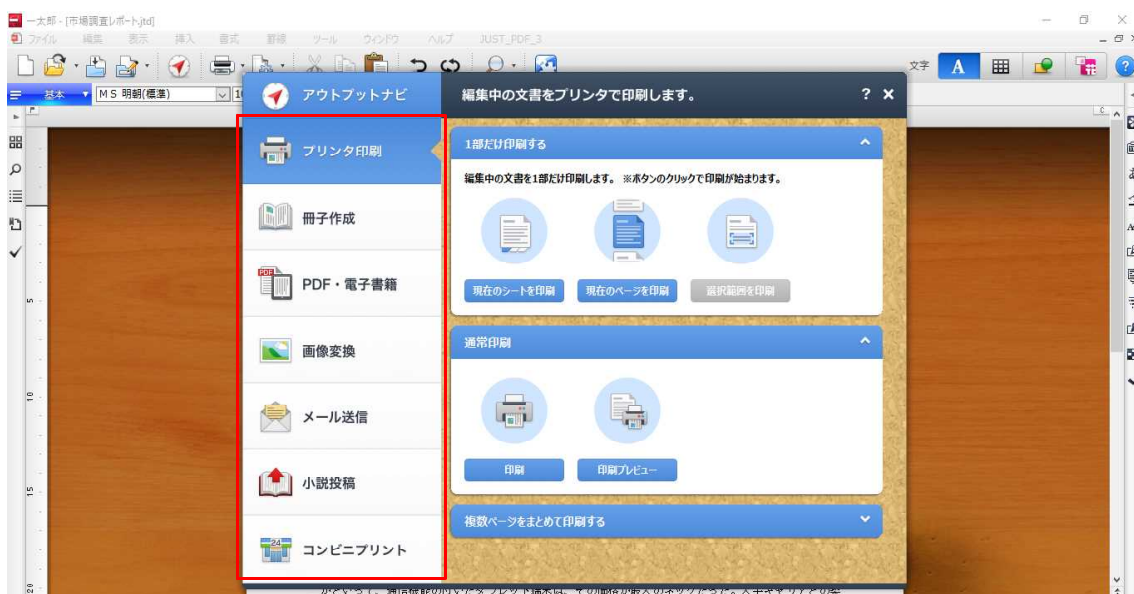
一太郎文書の“出力”をラクにこなすマル秘テク

ビジネスからプライベートまで、一太郎で作成する文書の用途・内容は実にさまざまで、出力（アウトプット）の形也多岐にわたります。会報誌を作って自宅のプリンタやコンビニのマルチコピー機で印刷したり、企画書をメールに添付して送ったり、執筆した小説を投稿サイトに投稿したり……。一太郎 2018 の新機能「アウトプットナビ」を使うと、文書が完成したあとに迷うことなく、利用シーンに応じたアウトプットをラクに行えます。

1. 文書が完成したら、ツールバーの「アウトプットナビ」をクリックします。

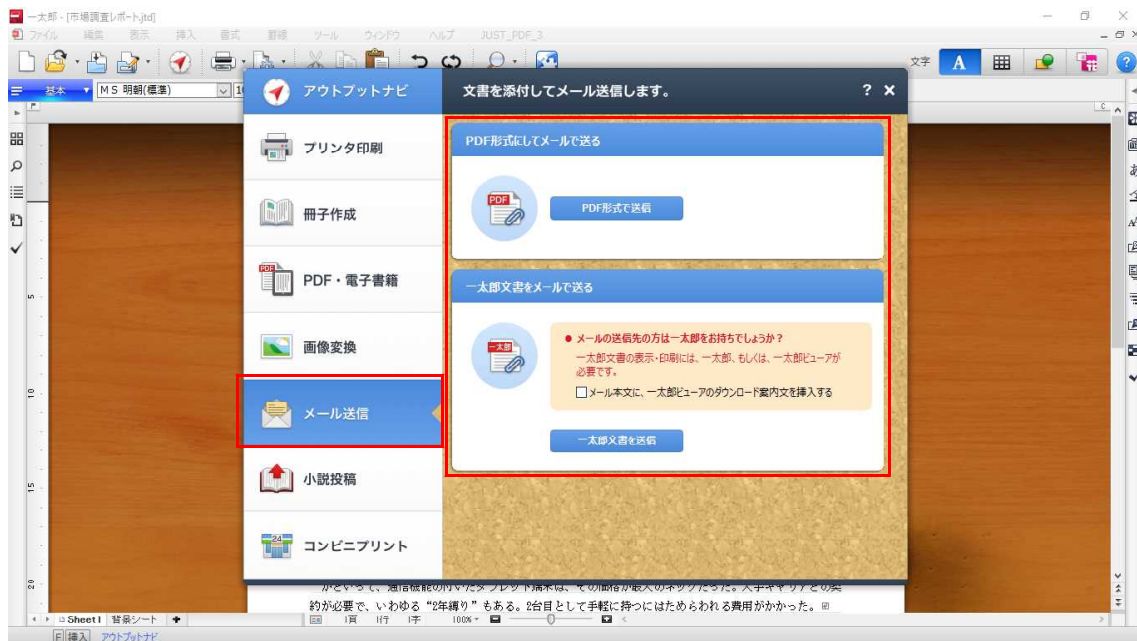


2. 「プリンタ印刷」[冊子作成]「PDF・電子書籍」など、出力方法の項目が表示されます。作成した文書をどんな形に出力するのか、目的に応じた項目を選択します。ここでは、いくつかの項目を紹介します。

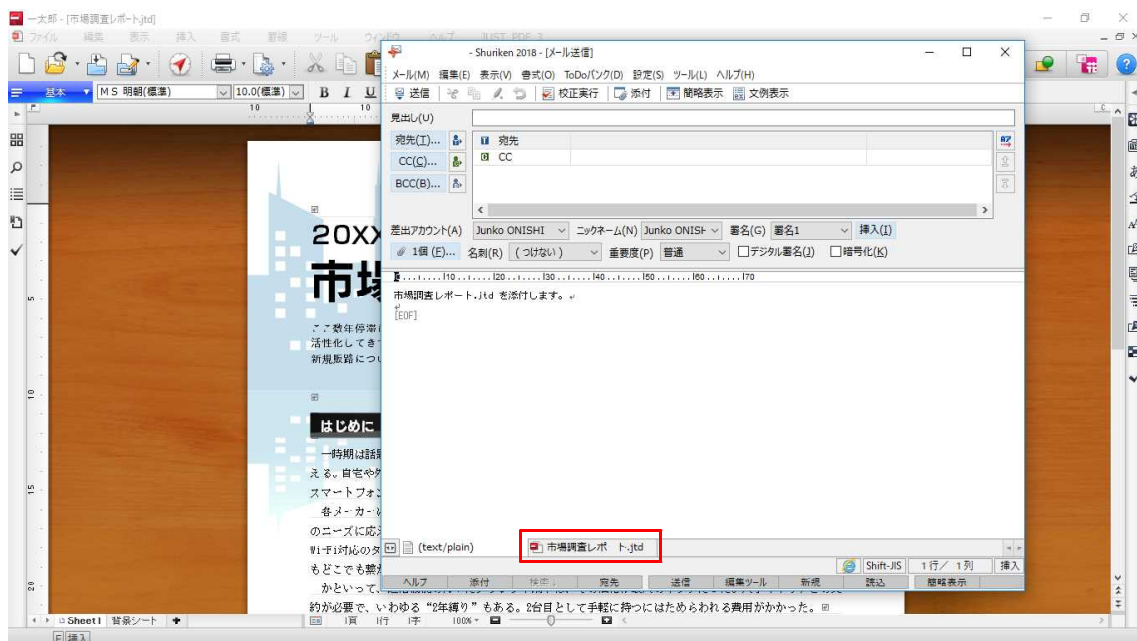


●出力したい形 → 「メール送信」

「メール送信」を選択し、一太郎文書をそのまま添付して送信するか、PDF ファイルに変換して送信するかを選択できます。



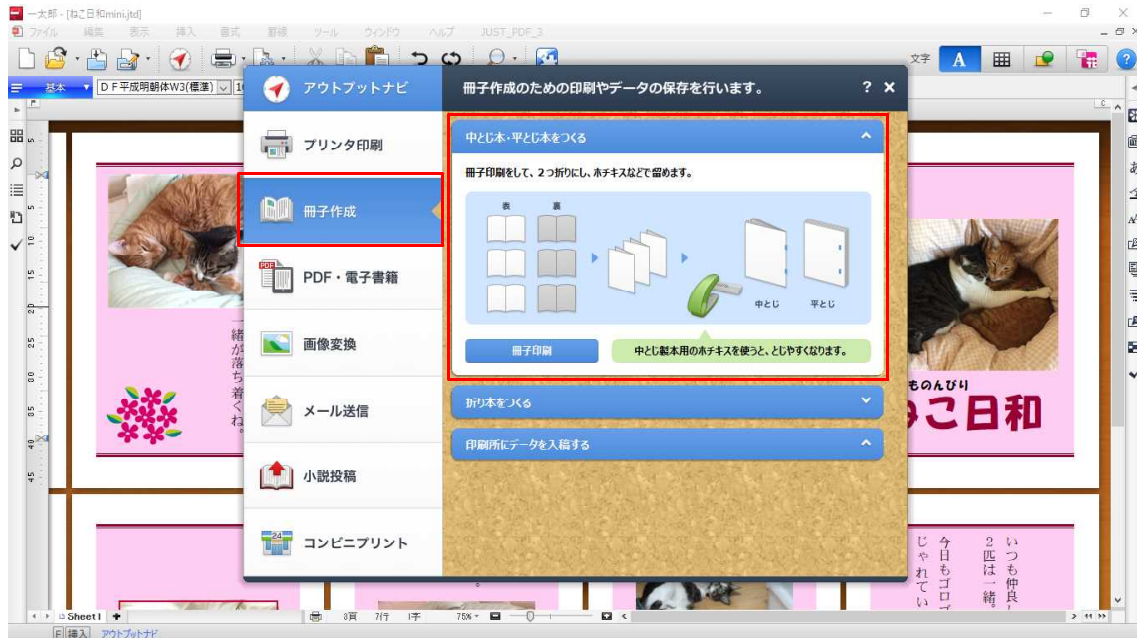
ファイルが添付されて、通常使うメールソフトの送信画面が起動します。メールソフトを起動してメール送信画面を開き、添付ファイルを選択して……という操作は不要です。



●出力したい形 → 「冊子」や「本」

複数ページの冊子や本をつくりたいなら「冊子作成」を選択します。自分で印刷して手軽につくる方法、印刷所にデータを入稿して本格的につくる方法があります。

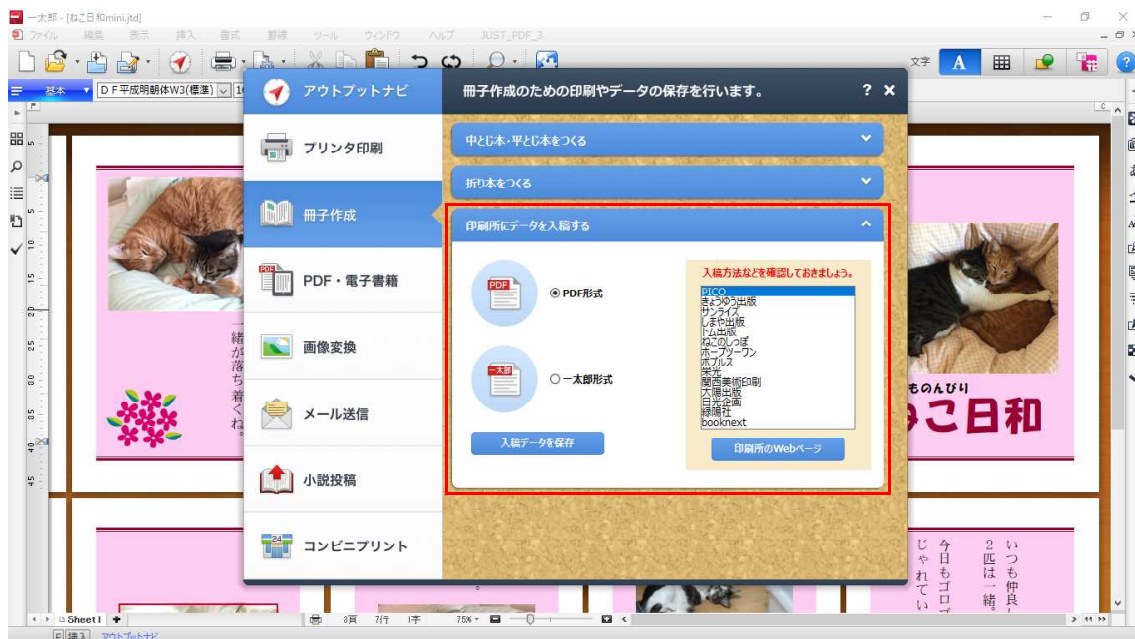
- ・[中とじ本・平とじ本をつくる] ……自分で印刷し、ホチキスなどでとじて「中とじ本」「平とじ本」をつくれます。



- ・[折り本をつくる] ……切り込みを入れたり折ったりして、本をつくれる「折り本」「つづら折り」。小さくて可愛いオリジナルの本をつくれます。

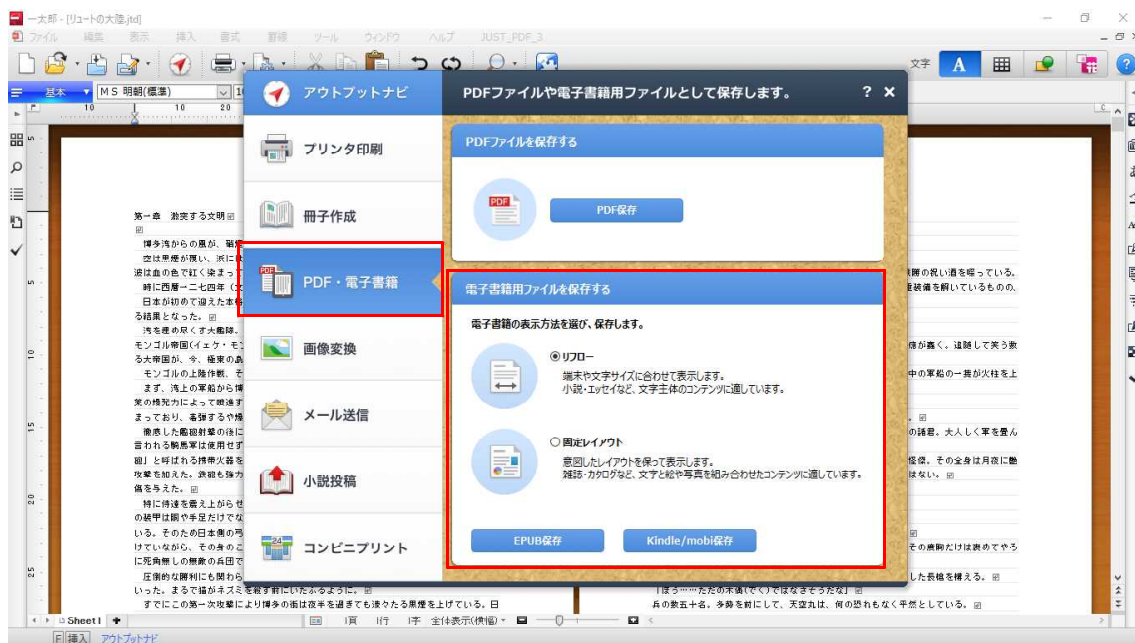


・[印刷所にデータを入稿する] ……同人誌や会報など、印刷所にデータを入稿して本をつくれます。印刷会社ごとの情報を Web ページで確認できます。



●出力したい形 → 「電子書籍」

オリジナルの小説やエッセイを電子書籍にしたいなら、[PDF・電子書籍] を選択します。EPUB 形式のほか、Kindle (アマゾン) の mobi 形式を指定できます。



●出力したい形 → 「小説投稿」

オリジナルの小説を投稿サイトで読んでもらうなら、[小説投稿]を選択します。サイトに
に応じた形式で、ふりがな（ルビ）や傍点（圈点）の形式を選んでテキストを保存します。

